

# 会津磐梯山と雄国沼散策

日程：2016年6月25-26日

天候：25日＝曇りのち雨、26日＝雨のち曇り

メンバー：4名

報告：F

満車が案じられた八方台登山口の駐車場は、ガラガラであった。天気が芳しくないためだろう、磐越道から見上げた磐梯山は、中腹から上はガスに覆われていた。風も強く、車も振られそうであった。こんな天候では空いているのは当然だろう。

身支度を整え、10:45、登山届を投函して出発する。気持ちのよいブナ林が続く。30分で硫黄臭のする中ノ湯跡に到着。温泉旅館は廃屋になって久しいようだ。足下は鉱泉がブクブクと少し湧き出している。しばらく進むと、早、若い二人組が降りてきた。上の様子を尋ねると、「とても風が強くて登頂できなかった」とのこと。雨が降っていないだけでも幸いである。下部は風があまり吹いておらず、上部の風も時間が経つと穏やかになるかもしれない。我々は進むことにする。やがて弘法清水に到着した。小屋の前に水場があった。一口飲んでみた。なかなかうまい。

山頂へ向けてスタートすると、後ろから賑やかな団体がやってきた。元気のよい若者達だ。先を譲ると、先生に引率された地元高校の20名ほどのパーティであった。山で若い方達に出会うのは楽しいものだ。こちらまで元気になる。

山頂が近くなると風が強くなりだした。しかし、危険なほどではないのでそのまま進み、登頂した。

残念だがガスで眺望は得られなかった。長居はせず、記念写真を撮ってすぐに弘法清水に向けて下った。



会津磐梯山の山頂です。ガスで眺望はなかったですが、皆さん笑顔です

小屋に入り、休憩する。磐梯山は登山口にはトイレがあるが、山の中には通常のトイレはない、小屋のトイレは携帯トイレブースになっている。皆さん300円で携帯トイレを購入し、小屋の方が一緒にブースに入って、その使用方法を説明していた。用済みの携帯トイレは口を締めると臭わず漏れないとのこと。登山口に設置されている投入ボックスまで持ち帰ることになる。年間2万人も登山するという磐梯山、携帯トイレは環境保全のひとつの方法だろう。山小屋によっては、トイレのタンクをヘリで降ろしているところもある。ずいぶん費用もかかるだろう。携帯トイレ方式はコスト的には合理的と思う。

下山の途中、お花畑に立ち寄ってみた。残念ながら花の時期にはまだ早く、ほとんど花はみられなかった。時間はたっぷりあるので、ゆっくりゆっくりと八方台へ下った。

この日は裏磐梯のキャンプ場泊である。まずはホテルに寄って受付を済ませ、ホテルの温泉に入る。下山後の温泉は気持ちが良いものだ。キャンプ場はテントの持ち込み可だが、梅雨の時期なので高床式の常設テントを予約しておいた。これが正解。テントに入って皆でワイワイと飲食を始めると、さっそく雨が降ってきた。底は濡れず、浸水の心配もなく、天井？も高く、立って歩ける程で広くてなかなか居心地がよい。それにしても皆さん次から次に、美味しそうな食べ物を出してくる。ついつい食べ過ぎてしまった。

翌朝、早朝発の予定であったが、昨夜からの雨がやまないで暫く待機。小降りになったところでお発。当初予定していた八方台―猫魔ヶ岳経由は変更し、雄国沼への登山口に向かった。登山口に到着すると雨というのに車が一杯！ やはりキスゲのシーズン、人気がある。

雨具に身を固めて出発。路は穏やかなハイキングコースである。到着した雄国沼休憩舎は広くて、多くのハイカーが休憩していた。綺麗なトイレもあり、我々もゆっくり休憩。雨の日、このような休憩舎があるのはありがたい。

雄国沼に着くと、皆さんより歓声が上がった。まさにキスゲの大群落！！

見渡す限りキスゲである。雨に打たれながらもけなげに咲き誇っていた。散策コースは一方通行の木道となっており、一周できるようになっていた。

我々もゆっくりキスゲを愛でながら一周した。名残惜しいが、雨なので長居はできない。ゆっくりと往路を戻った。



雄国沼のキスゲの大群落です

#### <コースタイム>

25日：八方台駐車場 10:45―中ノ湯跡 11:15―弘法清水 12:30-50―会津磐梯山山頂 13:20-25―弘法清水 13:55-14:05―お花畑 14:15-14:30―八方台駐車場 15:45

26日：雄国沼雄子沢登山口 7:15―休憩舎 8:25-45―沼散策コース一周―雄国沼休憩舎 9:45―雄国沼雄子沢登山口 11:55